

臨床放射線

編集委員

後 閑 武 彦
橋 本 順
今 井 裕
栗 原 泰 之
森 壘
山 下 孝

編集協力委員

畠 中 正 光
小 川 恭 弘
松 永 尚 文
森 宣
村 田 喜 代 史

編集後記

▶今月号の特集は「高齢者診療における画像診断」です。高齢者に限った問題ではありませんが、ひとりの患者に病気がひとつだけしかないとは限りません。それどころか日常生活や予後に大きく影響するような疾患をいくつも抱えていることも多いです。ただし、高齢者をキーワードに俯瞰すると、やはり高齢者に特有の疾患というものも浮かび上がってきます。それらの疾患をいかに効率よく診断すべきか？ 特に画像によるアプローチはどうしたらいいのか？ 安易に撮像され、増加の一途をたどる臨床画像に対し、ゲートキーパーとして放射線科医の果たすべき役割とは一体、何であるのか？ これを機会に、ぜひ再考して下さい。▶総説・診療では、久慈論文が定量的 SPECT/CT による診断精度の向上や付加価値の可能性を示唆し、幡多論文は頭部血管肉腫に対する X 線と電子線による全頭皮照射の方法や成績について概説し、皿井論文では心臓サルコイドーシスにおけるステロイド治療後長期の活動性指標としての ^{18}F -FDG 心筋集積の意義を述べ、子安論文は乳腺画像診断におけるリング型乳房専用 PET が従来型全身用 PET 装置よりも小病変の検出感度、拡がり診断や多発病巣のスクリーニングで有用であることを示し、林田論文は PET/CT 検診で S 状結腸憩室症の有病率やリスク評価について検討し、吉田論文では腎臓の炎症性疾患が疑われる場合は SPECT/CT を用いたガリウムシンチグラフィを積極的に行うことで精度の高い検査ができることが示唆され、いずれも日常診療に直結した知識の整理に役立ちます。▶症例では、伊原論文で正中弓状靱帯圧迫症候群があっても腓アーケードを介して胃十二指腸仮性動脈瘤を塞栓しえたこと、猪野論文では時に致死的となる非外傷性脾破裂を迅速な画像下治療 (IVR) で救命しえたことが報告されており、これまた日常診療での大変さ、工夫や喜びを誌上で実感できます。▶技術・情報では、田中論文で放射線皮膚障害対策における頭頸部の特徴として、病巣が皮膚に近いことによる皮膚線量の増加、頸部の皺や衣類の摩擦による放射線皮膚炎の増悪などが挙げられ、看護の視点からの対策を知ることができます。▶今月の症例では毎回、画像診断の奥深さや自分の浅学さを思い知らされます。例えば特徴的な画像所見がありありと存在しても、その意義を知らなければ役に立ちません。▶毎回、同じ思いを開陳して申し訳ございませんが、何度でも記します。投稿や症例を大切に「臨床放射線」は特異な編集方針を持つ稀有な雑誌であり、今後も皆様の活発なご投稿によって一緒に盛り立てて頂ければと切に願います。

森 壘

「臨床放射線」第 62 巻 第 13 号

2017 年 12 月 10 日発行 (毎月 10 日発行)

定価 (本体 2,500 円 + 税)

年間購読料金 定価 (本体 39,900 円 + 税)
[年間 13 冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代]
年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail:info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。